

## ワークショップ

### 夏休み子どもワークショップ

#### 「マジカルえんぴつツアー」

日 時 = 平成15年7月29・30日と7月31日・

8月1日

一日目 = 13:00 ~ 16:30

二日目 = 10:30 ~ 16:30

講 師 = 石塚ツナヒロ・櫛田香織

場 所 = 当館実技室・展示室

参加者数 = 62名

美術館で行うワークショップは、美術館という場であるからこそできる内容でありたいと考えている。そこで当館では、創作だけでなく、展覧会や作品の鑑賞とからめたワークショップが、いろいろと試みられている。

今年の夏休み子どもワークショップは、開催中の「もうひとつの明治美術」展との関連を考えた。明治時代中期の「不同舎」の画家たちは、鉛筆とスケッチブックを持ってひんぱんに写生旅行に出かけ、デッサンに明け暮れた。そこで、講師の石塚ツナヒロさんが考えたプログラムは、鉛筆デッサンを通して、ものをしっかり見、しっかりと描き、さらには鉛筆の様々な技法で自分を表現することを、子どもたちに学んでもらおうとする内容であった。

でも、そこは石塚さんの楽しいキャラクターのこと、子どもたちの関心をかき立てるための、まさにマジカルな仕掛けが盛りだくさんであった。9Hから6Bまで17種類の鉛筆を体験した後、フロッタージュとコラージュで自分だけの虫を作る むしむしフロッタージュ・ツアー、スイカの柄をじっくり見て描き、その後、食べてしまう あじわい鑑賞ツアー、鉛筆で真っ黒に塗りつぶした紙が白黒に反転する ふしぎえんぴつツアー / 海底たんけん、そして等身大にかたどった自分の体の周りを、これまで学んだ様々な鉛筆の技法で表現していく ぼくってふしぎ わたしてふしぎ / 等身大掛け軸 などなど。子どもたちは、石塚さんとアシスタントの櫛田香織さんのガイドで、鉛筆表現の様々な世界を楽しくツアーした。これは、明治時代の先達たちが写生旅行を通して探求した理念を、現代的に追体験する物でもあった。

### 夏休みワークショップ「水彩画ワークショップ」

日 時 = 平成15年8月2・3日

10:15 ~ 16:15

講 師 = 鈴木輝實・佐田昌治 (太平洋美術会)

場 所 = 当館実技室・展示室

参加者数 = 42名

夏休み子どもワークショップは、1988年の「旗」から毎年の恒例事業になり、今回で16回目になる。毎年参加してくれる常連さん?も多く、小学校を卒業すると参加できないと残念がる声も多く聞かれた。そこで昨年度から、中学生も参加できるワークショップを開催している。

今年の夏休み子どもワークショップは、小学生が「マジカルえんぴつツアー」、中学生が「水彩画ワークショップ」を開催した。名前のとおり、小学生は鉛筆を中学生は水彩絵の具の様々な技法で自分を表現することを学ぶ内容で、小学生が同時期開催中の「もうひとつの明治美術」展に出品されている鉛筆デッサンとの関連を考えたように、中学生も同展出品の水彩画を中心に鑑賞した後、制作へと移っていった。

今回のワークショップは「水彩」以外にも二つのテーマを据えた。それは「自然」と「抽象表現」。展覧会には約100年前の日本の風景画が主に展示されていたので、当時の作家が自然と向き合い制作した精神を感じて、作品に生かし制作すること。また、その自然と自分の関係を抽象的に表現することを目指したのである。

一日目は、展覧会鑑賞・講師からの水彩技法の手解き・自然の色を採取する色探しの旅とワークショップは進み、二日目は、長さ2メートル幅1.13メートルのワトソン紙を床いっぱい広げ制作した。制作が終わると感想会。いつもは実技室で行うが、今回は屋外に出て、周りの景色も作品の一部に取り込み鑑賞する試みを実施し終了した。

「粘土ワークショップ - 学校のためのプログラム -」

講師 = 石上和弘 (彫刻家)・持塚三樹・遠藤寿恵・永田はるみ

場所 = 当館実技室

約1トンの水粘土を使用。体感的なプログラムをとおして、粘土との触れ合いや彫刻制作のプロセスを知る手がかりをつかむことを目的としている。

開催日	利 用 校	利用者数
5/20	静岡市立東源台小学校3年	37名
5/21	静岡市立東源台小学校3年	37名
5/22	静岡市立東源台小学校3年	37名
6/25	静岡県立中央養護学校 中等部	15名
7/2	静岡市立東豊田小学校5年	111名
7/3	静岡市立清水飯田小学校5年	95名
7/10	静岡市立清水袖師小学校3年	118名
7/23	東源台児童クラブ1～3年	38名
7/23	大谷児童クラブ1～5年	40名
7/23	井宮北児童クラブ1～5年	30名
7/23	長田児童クラブ1～4年	30名
7/24	井宮児童クラブ1～6年	31名
7/24	賤機児童クラブ1～3年	31名
7/24	千代田児童クラブ1～3年	38名
7/24	清水江尻小育成児童会1～4年	30名
8/5	清水駒越小育成児童会1～3年	35名
8/5	西奈児童クラブ1～3年	35名
8/5	瀬名児童クラブ1～4年	30名
8/5	豊田児童クラブ1～6年	15名
8/6	清水船越小育成児童会1～3年	35名
8/6	清水浜田小育成児童会1～4年	30名
8/6	安東児童クラブ1～3年	38名
8/6	伝馬町児童クラブ1～3年	30名
8/7	宮竹児童クラブ1～3年	39名
8/7	西奈南児童クラブ1～4年	35名
8/7	新川児童クラブ1～3年	30名
8/7	西豊田児童クラブ1～3年	40名
8/19	長田北児童クラブ1～5年	41名
8/19	清水飯田小育成児童会1～4年	34名
8/19	清水興津小育成児童会1～3年	34名
8/20	新富町児童クラブ1～4年	30名
8/20	清水辻小育成児童会1～3年	35名
8/20	長田東児童クラブ1～3年	40名
8/20	清水有度第一小育成児童会1～3年	34名
8/21	清水袖師小児童育成会1～3年	35名

開催日	利 用 校	利用者数
8/21	清水三保第一小育成児童会1～3年	32名
8/21	中央児童クラブ1, 2年	35名
8/21	上足洗児童クラブ1, 2年	20名
8/26	川原児童クラブ1～3年	40名
8/26	羽鳥の場児童クラブ1～3年	36名
8/26	富士見児童クラブ1～4年	29名
8/27	清水高部小育成児童会1～3年	41名
8/27	清水高部東小育成児童会1～3年	40名
8/27	清水飯田小育成児童会1～3年	40名
8/28	城北児童クラブ1～3年	43名
8/28	清水有度第二小育成児童会1～3年	27名
8/28	千代田東児童クラブ1～3年	40名
8/28	中田児童クラブ1～3年	40名
10/1	静岡市立中藁科小学校3年	10名
10/2	静岡市立有度第二小学校3年	75名
10/8	静岡市立有度第二小学校3年	37名
10/22	静岡市立有度第一小学校3年	76名
10/23	静岡市立中田小学校3年	115名
10/28	焼津市立焼津東小学校3年	73名
10/29	静岡市立清水有度第一小学校3年	76名
11/12	静岡市立一番町小学校1, 2年	36名
11/13	静岡大学教育学部附属静岡小学校4年	39名
11/20	静岡市立城内小学校2年	76名
11/26	静岡県立中央養護学校 高等部	9名
11/27	静岡大学教育学部附属静岡小学校4年	38名
12/4	静岡市立足久保小学校1年	21名
計		2,537名

### 粘土遊び

講師 = 内海健夫・鶴谷由子・橋本 薫・永田はるみ  
場所 = 当館実技室

本年度の特徴は、複数回利用いただく園があったこと。内容に変化を加えるために、その都度講師との打合せを繰り返すことによって、メニューの中身が膨らんでいったことは、今後の展開を踏まえて有益な結果につながった。

開催日	利 用 園	利用者数
10/30	静岡精華幼稚園 4歳児	47名
11/11	若草保育園 3歳児	32名
11/18	若草保育園 4,5歳児	61名
2/24	さつき幼稚園 親子遠足	100名
3/2	和田幼稚園	44名
計		2,300名

開催日	利 用 園	利用者数
5/7	瀬名川保育園 5歳児	57名
5/13	静岡精華幼稚園 4歳児	47名
5/14	ルンビニー保育園 親子遠足	120名
5/14	リリー幼稚園 4,5歳児	60名
5/15	こまどり幼稚園 5歳児	44名
5/20	若竹幼稚園 3歳児	38名
5/21	瀬名川保育園 4歳児	46名
5/22	若竹幼稚園 4,5歳児	90名
5/27	静岡精華幼稚園 5歳児	65名
5/28	第二ふたば保育園 5歳児	33名
6/3	青木橋保育園 4,5歳児	43名
6/4	静岡市立八幡保育園 4,5歳児	64名
6/5	静岡バプテスト幼稚園 全園児	41名
6/10	若竹幼稚園 3歳児	38名
6/11	若竹幼稚園 4,5歳児	90名
6/18	北安東保育園 4,5歳児	37名
6/19	日本平幼稚園 5歳児	95名
6/24	若草保育園 5歳児	32名
6/26	丸子・アソカ幼稚園 4,5歳児	60名
7/1	日本平幼稚園 4歳児	107名
7/2	藤枝聖マリア保育園 3,4歳児	60名
7/8	賤機幼稚園 全園児	62名
7/9	若竹幼稚園 4,5歳児	90名
9/4	若竹幼稚園 4,5歳児	90名
9/9	若竹幼稚園 3歳児	38名
9/10	第二ふたば保育園 4歳児	36名
9/10	リリー幼稚園 絵画クラブ	30名
9/11	静岡サレジオ幼稚園 5歳児	66名
9/30	静岡市立東豊田保育園 4,5歳児	61名
10/7	静岡精華幼稚園 5歳児	65名
10/9	静岡精華幼稚園 3歳児	62名
10/15	丸子幼稚園 3歳児	21名
10/16	若竹幼稚園 4,5歳児	90名
10/21	若竹幼稚園 3歳児	38名

### 移動子どもワークショップ

講師 = 石上和弘 (彫刻家)・持塚三樹  
高杉憲夫・清水紀英

移動美術展の開催にあわせ、開催地の小学校で粘土ワークショップを開催した。粘土に親しむ従来の目的とは別に、なかなか県立美術館まで来ることが出来ない遠隔地の子ども達に、美術館を紹介する役割を果たすことも目的とした。

10月20日、沼津会場での初日となるこの日は、伊豆半島の西海岸にある沼津市立西浦小学校にお邪魔した。午前中が1～3年生(72名)、午後が4～6年生(70名)の全校児童が対象というこじんまりとした小学校で、それ故に人懐っこい子ども達や先生が講師達を出迎えてくれた。制作意欲も旺盛で、用意した1トンの粘土は瞬く間になくなり、シートいっぱい作品が広がった。

沼津会場での開催希望が多く、全ての学校で開催することができず残念であった。

開催日	開催校	利用者数
10/3	浜北市立浜名小学校	98名
10/5	なゆた・浜北	75名
10/7	浜北市立内野小学校	123名
10/9	浜北市立北浜小学校	174名
10/14	浜北市立鹿玉小学校	102名
10/20	沼津市立西浦小学校	142名
10/21	沼津市立原東小学校	179名
10/22	沼津市立片浜小学校	180名
10/27	沼津市立大岡小学校	145名
10/28	沼津市立大平小学校	97名
計		1,315名

### 移動美術講座

講師 = 村上敬・南美幸・堀切正人 (当館学芸員)

移動美術展の関連普及事業として、移動美術講座の開催を募ったところ、多数の学校から開催の希望をいただき、そのうち12校での開催を実現することが出来た。

講座は、ロダン彫刻のポーズを真似してもらい、ロダンの目指した表現方法や作品の背景にある物語について語る、風景画を、描かれている場所や時間、季節を通して考えるなどの内容ですすめられた。

その後、多くの学校の児童・生徒やその保護者が展示会場を訪れ、本物の作品に触れる機会につながった。また、静岡県立美術館の存在を広く知らしめることが出来たと考えている。

開催日	開催校	利用者数
10/3	浜北市立鹿玉中学校	109名
10/8	浜北市立北浜東部中学校	30名
10/16	浜北市立内野小学校	409名
10/20	浜北市立浜名小学校	82名
10/20	浜北市立北浜小学校	163名
11/4	沼津市立第二中学校	264名
11/5	沼津市立第四小学校	97名
11/5	沼津市立第五小学校	202名
11/6	沼津市立開北小学校	108名
11/6	沼津市立愛鷹小学校	164名
11/7	沼津市立静浦中学校	80名
11/7	沼津市立大平中学校	130名
計		1,838名



10月20日 沼津市立西浦小学校

中学生文化芸術鑑賞推進事業

美術館が所蔵する絵画・彫刻の鑑賞や本格的な劇場での舞台芸術の鑑賞を提供することにより、県内の中学生の豊かな心を育むとともに、文化芸術の素晴らしさを知ってもらうことを目的として行われた。事前学習を希望する5校に出張して美術講座を行った。(印の中学校)

期 間 = 平成16年1月14・26～30日・2月2日～5日 (11日間)

来館数 = 17市町村から24校 (4162名)

月日	学校名	人数
1/14	静岡市立清水第二中学校	271
	島田市立第二中学校	411
1/26	静岡市立長田南中学校	259
	富士宮市立西富士中学校	123
1/27	御殿場市立富士岡中学校	334
	天竜市立熊中学校	39
1/28	沼津市立金岡中学校	219
	日本大学三島中学校	59
	静岡市立藁科中学校	86
1/29	袋井市立袋井中学校	254
	戸田村立戸田中学校	111
1/30	小山町立小山中学校	210
	引佐町立南部中学校	142
2/2	富士市立田子浦中学校	326
2/3	中伊豆町立中伊豆中学校	178
	静岡大学教育学部附属静岡中学校	166
2/4	沼津市立大岡中学校	228
	清水国際中学校	24
	静岡精華中学校	42
	引佐町立北部中学校	55
2/5	大須賀町立大須賀中学校	152
	富士宮市立井之頭中学校	44
	南伊豆町立南伊豆東中学校	125
	磐田市立城山中学校	304
計		4,162

鑑賞授業

- ・当館収蔵作品の金沢健一《音のかけら》を用いたワークショップ 3校
- ・「ブロンズ彫刻の作り方」ビデオとロダン館の鑑賞を組み合わせた授業
- ・盲学校の「彫刻をさわって鑑賞するプログラム」の利用 2校

- ・140校が展覧会の鑑賞に来館し、そのうち7校に展覧会のオリエンテーションを行った。

施設見学

- ・普段は入れない美術館の裏側に案内し、知られざる美術館の姿を紹介する「裏方ツアー」の利用 3校
- ・学芸員の仕事を体験する「職場体験」の利用 2校
- ・総合学習の利用 2校

ロダン館スケッチ・デッサン

- ・中学校の美術部、専門コースのある高校が実施した。 2校

貸し出し

- ・展覧会の事前学習などに利用していただくための、スライド、ビデオ、図録などをセットにした「鑑賞キット」の貸し出し 26校
- ・粘土ワークショップを自校で開催するための粘土、土練機などの貸し出し 5校

先生が利用するプログラム

- ・粘土ワークショップを自身で指導されたい先生の為の「教員研修会」の利用 3校
- ・展覧会の内容を授業などに活用したいと考えている先生のための「ティーチャーズレクチャー」の利用 82校

- ・美術館利用の方法について説明する「学校ガイダンス」を開催 5校

- ・子ども達が利用するセルフガイドを先生と学芸員が共同して制作する事業 5月

- ・美術館を活用した教員研修会の利用 2校
- ・学校と美術館の連携について意見交換をする研修会への出席 3件

出張授業

- ・学校に出張しての美術講座 7校  
大学生の利用
- ・インターンシップ実習 (美術館での活動体験) 2校
- ・美術館の活動調査 3校